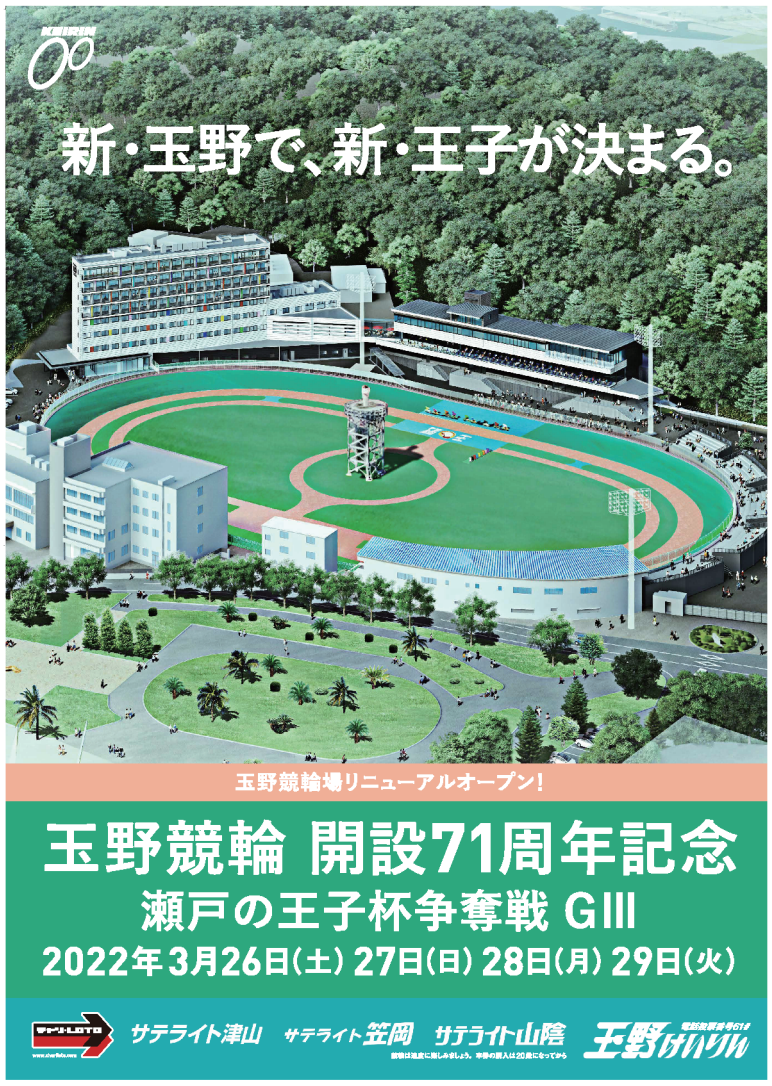
プロスポーツ 玉野競輪 号外版
PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE



脇本雄太が圧倒スピードで圧倒

玉野競輪場開設71周年記念「瀬戸の王子杯争奪戦」は、3月26日～29日の日程で開催される。今シリーズは松浦悠士、吉田拓矢、佐藤慎太郎のSS班3名が参戦するが、今年はSS班の座を明け渡したものの、輪界トップの脚力を誇る脇本雄太がファンの支持を集めそうだ。地元勢はこの大会3Vの実績を持つ岩津裕介をはじめ取鳥雄吾、柏野智典らが一丸となって強豪を迎え撃つ。4日間に渡るスピードバトルから目が離せない。

腸骨疲労骨折が原因で、昨年10月の「火の国杯争奪戦」in久留米の2日目から欠場が続いていた脇本雄太。約4カ月ぶりの復帰戦となった2月奈良記念は1①①❼着。中四国勢5車の連係が奏功した決勝は力を発揮できなかったものの、勝ち上がり戦は圧勝している。二次予選は古性優、準決では松浦悠士を寄せ付けなかった。続く同月大宮は3連勝で復帰後の初Vをゲット。Gレースに比べるとやや軽い相手だったとはいえ、決勝は力強いまくりで別線を捻じ伏せ、冬場の重いバンクにもかかわらず上がりタイムは13秒6を記録した。更に調子の上積みが見込める今回は主役を演じる。この大会連覇を目指す松浦も有力な優勝候補だ。2月奈良記念②②②❶着で今年の初Vを飾ると、全日本選抜は①②②❷着とオール連対の準V。更に3月名古屋記念は③①①着で決勝に駒を進めたが、落車のアクシデントに見舞われていて、体調が浮沈の鍵となりそうだ。自力勝負、番手戦のどちらでも機敏に立ち回れるので、体調に問題がなければ連覇を達成する場面は大いにあろう。

昨年は玉野競輪場が施設改修で使用できず、この大会は広島競輪場で開催されただけに、地元勢はいつも以上に気合が入る。戦力も整っていて、自力型は取鳥雄吾、追い込み型は岩津裕介、柏野智典。取鳥の自力攻撃は破壊力抜群で、1月豊橋記念で優参、全日本選抜では3日目に1勝を挙げている。岩津は59、61、63周年と3Vを達成している地元の重鎮。松浦が加勢して中国ラインを形成なら強大な戦力となる。

昨年はタイトルホルダーの仲間入りを果たした吉田拓矢率いる茨栃勢も好勝負が見込める。地元で開催された全日本選抜は今ひとつ流れに乗れず3日目特選の1勝にとどまったが、1月立川記念でV、2月奈良記念は①①①❸着など、力強い走りを披露している。吉澤純平、神山拓弥が盛り立てればラインも強固だ。吉澤も2月静岡記念③①②❻着、全日本選抜①⑦⑥①着と2勝するなど乗れている。

佐藤慎太郎はベテランならではの安定プレーを演じている。今年は1月和歌山記念から全日本選抜までオール優参し、2月静岡記念ではVをゲット。3連対率は驚異のジャスト9割を誇っている。今シリーズの北日本の上位陣は自力型手薄の不利はあるが、的確なコース選択と鋭い差し脚を発揮しての連食い込みには注意したい。

太田竜馬、香川雄介、橋本強の四国勢も忘れてはならない。先陣を受け持つ太田はここに来て調子を上げている。2月高知を3連勝し今年初Vをものにすると、全日本選抜では眞杉匠、郡司浩平を次々破り二次予選、準決で勝ち星をゲットした。スピードの切れが良くなっているだけに怖い存在だ。メンバー次第では中国勢との連係も考えられるので動向からは目が離せない。

「瀬戸の王子杯争奪戦」in玉野 出場予定選手

※2022年3月14日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	118.33	S1	脇本雄太	福井	94期	113.71	S2	水書義弘	千葉	75期	97.50	S2	藤木裕	京都	89期	100.64	S2	大石崇晴	大阪	109期	98.47
SS	松浦悠士	広島	98期	118.08	S1	鹿内翔	青森	95期	100.60	S2	松尾淳	岐阜	77期	89.50	S2	志村太賀	山梨	90期	106.00	S2	野村典嗣	愛媛	109期	93.11
SS	吉田拓矢	茨城	107期	117.07	S1	河端朋之	岡山	95期	91.67	S2	尾崎剛	埼玉	79期	100.35	S2	安東宏高	大分	90期	97.83	S2	瀬戸栄作	長崎	109期	99.43
S1	室井健一	徳島	69期	102.76	S1	新山将史	青森	98期	103.70	S2	佐藤真一	東京	79期	101.22	S2	小野大介	福島	91期	97.50	S2	伊藤稔真	三重	111期	98.54
S1	成清貴之	千葉	73期	102.86	S1	武藤龍生	埼玉	98期	112.27	S2	吉村和之	岐阜	80期	96.95	S2	金澤竜二	福島	91期	93.68	S2	中野雄喜	京都	111期	94.79
S1	香川雄介	香川	76期	110.15	S1	横山尚則	茨城	100期	100.25	S2	坂上樹大	石川	80期	93.82	S2	藤田大輔	千葉	91期	97.46	S2	今岡徹二	広島	111期	102.32
S1	齋藤登志信	宮城	80期	106.45	S1	吉澤純平	茨城	101期	110.47	S2	青井賢治	徳島	81期	94.00	S2	小堺浩二	石川	91期	96.27	S2	今野大輔	愛媛	111期	95.80
S1	野田源一	福岡	81期	109.00	S1	畑段嵐士	京都	105期	101.54	S2	小林信晴	愛知	83期	96.95	S2	大川龍二	広島	91期	104.58	S2	平尾一晃	長崎	111期	97.52
S1	西岡正一	和歌山	84期	100.56	S1	取鳥雄吾	岡山	107期	109.77	S2	大野悟郎	大分	83期	97.80	S2	木村隆弘	徳島	91期	106.33	S2	小林稜武	千葉	113期	96.30
S1	坂本健太郎	福岡	86期	107.57	S1	末木浩二	山梨	109期	104.96	S2	山口貴弘	栃木	84期	96.64	S2	森川大輔	岐阜	92期	93.67	S2	佐伯亮輔	岡山	113期	100.59
S1	松岡健介	兵庫	87期	107.19	S1	太田竜馬	徳島	109期	110.41	S2	白岩大助	埼玉	84期	98.31	S2	水谷好宏	大阪	93期	99.41	S2	阿部架惟都	宮城	115期	96.33
S1	岩津裕介	岡山	87期	108.18	S1	野口裕史	千葉	111期	106.42	S2	伊藤大志	青森	86期	96.47	S2	柴田竜史	静岡	96期	92.37	S2	武田亮	東京	115期	99.60
S1	福田知也	神奈川	88期	103.87	S1	皿屋豊	三重	111期	105.09	S2	佐藤悦夫	栃木	86期	93.42	S2	根本哲吏	秋田	97期	103.20	S2	張野幸聖	和歌山	115期	95.29
S1	柏野智典	岡山	88期	111.22	S1	伊藤颯馬	沖縄	115期	107.10	S2	原真司	岐阜	86期	101.23	S2	高市訓但	愛媛	97期	100.16	S2	晝田宗一郎	岡山	115期	102.44
S1	山口泰生	岐阜	89期	103.19	S2	西川親幸	熊本	57期	100.13	S2	木村直隆	兵庫	86期	100.36	S2	藤井昭吾	滋賀	99期	103.00	S2	宮崎大空	熊本	115期	96.65
S1	橋本強	愛媛	89期	108.63	S2	高木隆弘	神奈川	64期	94.46	S2	湊聖二	徳島	86期	106.52	S2	本郷雄三	熊本	99期	103.06	S2	太田龍希	埼玉	117期	102.44
S1	田中誠	福岡	89期	106.08	S2	三宅伸	岡山	64期	97.55	S2	上吹越直樹	鹿児島	86期	96.25	S2	表原周	大阪	100期	103.29	S2	青野将大	神奈川	117期	103.56
S1	神山拓弥	栃木	91期	109.69	S2	富永益生	愛知	66期	94.29	S2	近藤俊明	神奈川	87期	97.93	S2	石口慶多	兵庫	103期	95.95	S2	畝木聖	岡山	117期	93.77
S1	原誠宏	香川	91期	103.95	S2	加倉正義	福岡	68期	93.92	S2	大屋健司	広島	87期	99.46	S2	和田誠寿	広島	103期	99.32	S2	松岡辰泰	熊本	117期	105.25
S1	和田圭	宮城	92期	109.69	S2	阪本正和	長崎	70期	97.43	S2	大崎飛雄馬	愛媛	88期	99.54	S2	副島和人	神奈川	105期	95.46	S2	山根将太	岡山	119期	102.35
S1	鷲田幸司	福井	92期	104.26	S2	遠藤勝行	静岡	73期	93.76	S2	松永将	茨城	89期	97.50	S2	岡本総	愛知	105期	106.05					
S1	片岡迪之	岡山	93期	104.12	S2	丸山啓一	静岡	74期	97.89	S2	上田国広	三重	89期	95.05	S2	酒井雄多	福島	109期	104.10					